

京急線 横須賀中央駅



駅構内の常時点灯状態にあるトイレをLED照明のみで空間設計。大幅に省エネ化を見込む

古くから市の行政・経済・文化の中心地として発展してきたことから駅名に“中央”と名づけられた横須賀中央駅。改札内にトイレがほしいとの一般市民からの要望を受け、新たに東側改札口側に旅客用トイレと多機能トイレが新設となりました。その新設トイレは今話題のE-CORE40とE-CORE60のLED照明のみの採用となりました。LED照明独特のきらびやかな光感と光沢のあるタイル材で形成された空間は、一見ホテル風のトイレをイメージさせます。初期計画では蛍光灯ダウンライトを導入予定でしたが、LEDダウンライトをシミュレーションした結果、約72%の電気代を削減できるとの見込みから、全ての照明器具がE-COREダウンライトで空間設計されました。

所在地：神奈川県横須賀市若松2-25
 施工：電気/京急電機(株)
 完成：平成20年3月



女子トイレ内 動線側にE-CORE60効率重視タイプ(電球色相当)を配し、鏡上には顔色を生き生きと表現するためE-CORE40演色重視タイプを配置している



多機能トイレ 間口を広めにとり、車いすに対応した多機能トイレ内部。E-CORE40の光感が隅々までいきわたる



男子トイレ内 E-CORE40広角タイプを使用しているため、明るさが小便器周辺にまで十分に拡散される



女子トイレ 個室1室ごとに設置されたE-CORE40(電球色相当)

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
旅客用トイレ、多機能トイレ	LEDダウンライトE-CORE60Wクラス	LEDD-66001L-LS1	26	7.8W電球色相当LED(効率重視タイプ)
	LEDダウンライトE-CORE40Wクラス	LEDD-44002L-LS1	22	5.3W白色相当LED(演色性重視タイプ)

京急線 能見台駅・追浜駅ほか



電車への乗降の際の安全性を図るため、注意を促すLED足下灯を設置

京急電鉄では、プラットホームがカーブしている駅においては、電車が停止した際、電車ドアとホームとに隙間が生じ、危険を伴う心配があるため、その隙間部分のホーム下部にLED屋外用ラインモジュールの足下灯を設置。LEDのキラメキのある点滅により乗降客に注意を促し、電車ドアからの乗り降りの際の安全性が図られています。

所在地：神奈川県横浜市 能見台駅
 神奈川県横須賀市 追浜駅
 施工：電気/京急電機(株)



電車が停止してドアが開いた際、ドアとホームの隙間の注意を促すため、LED屋外用ラインモジュールをホーム下部に配置



プラットホーム下部の作業足場にLED足下灯を設置



ドアとホームの隙間から望むLED足下灯

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
能見台駅・追浜駅ほか	LED屋外用ラインモジュール 4連結1組(特注対応)	LET-01020W-XL1	600	5WLED×4